

中央社保協 2022年度活動日誌

12月1日	木	10月1日に実施された75歳以上医療費窓口2倍化が生活に及ぼす影響についての記者会見
		「オン資義務化撤回！国民のいのち、くらしを第一に！医師・歯科医師からの怒りの声」国会内集会
12月2日	金	第50回中央社保学校 岡山社保協挨拶
		いのちくらし社会保障を取り戻せ10.20国民集会総括会議
12月3日	土	マイナ保険証を強制するな☆12.3緊急アクション★
12月6日	火	高齢期要求年末座り込み 高齢期要求WEB集会
		マイナンバー制度反対連絡会 12.6 3省庁交渉
		介護保険部会 花俣氏「私のひとこと」提出行動
12月7日	水	第5回介護・障害者部会
		第4回運営委員会
		オンライン学習会「マイナンバー・デジタル関連法と社会保障」
12月8日	木	日本医療総合研究所 懇談
12月9日	金	天海訴訟傍聴・報告集会
		メーデー実行委員会結成集会
12月11日	日	国保改善運動学習交流集会
12月12日	月	近畿ブロック会議
12月13日	火	北信越ブロック会議
12月14日	水	75歳以上医療費窓口負担2割化反対4団体共同会議
		巣鴨宣伝
		東海ブロック会議
12月15日	木	北海道・東北ブロック会議
12月16日	金	九州・沖縄ブロック会議
12月17日	土	子ども医療全国ネット上野駅宣伝行動
12月19日	月	関東甲ブロック会議
12月21日	水	全労連社会保障共闘会議
		地域医療を守る運動全国交流集会総括会議
12月22日	木	中国ブロック会議
12月23日	金	四国ブロック会議
		代表委員会
12月26日	月	25日宣伝
		厚生労働省交渉・私のひとこと提出
12月27日	火	介護7団体打ち合わせ
12月28日	水	社保テキスト会議

中央社保協ニュース

中央社会保障推進協議会 2022年12月27日 22-37号
110-0013 東京都台東区入谷1-9-5 医労連会館5階
電話 03-5808-5344 FAX03-5808-5345
メール k25@shahokyo.jp
HP <https://shahokyo.jp/>



いかそう!
憲法25条

12/26 厚生労働交渉を実施

介護制度大改悪の断念を

「介護の負担増やめて」全国2407人の「私の一言」を提出



12月26日、中央社保協の介護障がい者部会は議員会館で、厚生労働省交渉を実施しました。交渉の冒頭、全国2407人分の「介護保険制度の見直しに関する要望書・私の一言」を提出しました。

中央社保協の交渉団は7名とリモート参加6名。厚労省は老健局から6名が応じました。

改悪は断念し、介護保険制度の抜本改善を

厚生労働省は口頭で、介護署名の4つの請願項目に沿って現状の到達を報告。挨拶に立った全労連の秋山副議長は、厚労省として介護の予算確保の努力を求め、全日本民医連の林事務局次長は、利用控えが深刻となる利用料2割化の影響調査について報告し、介護制度の抜本改善を求めました。新婦人中央本部の日野さんは、会員の介護負担増に対する怒りの声を紹介し、介護負担増の断念を求めました。リモート参加の愛知社保協の樽松さんは、軽度者の総合事業の受け皿が難しい実態を報告し、事業所の実態調査を強く求めました。



今年もお世話になりました。来年も更に介護署名を積み上げていきましょう

2022年（第20回）介護全国学習交流集会第6回実行委員会

2023年（第21回）介護全国学習交流集会第1回実行委員会

2022年12月14日（水）18:00～

《出席》

民医連（林） 中央社保協（林） 自治労連（青池） 生協労連（櫻井）

福祉保育労（民谷） 医労連（寺田） 東京地評（松崎）

ホームヘルパー全国連絡会（佐藤） 全労連（秋山、香月、溝口）

敬称略

I 第20回介護全国学習交流集会について

1 参加者等について

会場参加者	37名
オンライン参加者	247名（YouTube視聴を含む）
合計参加者	284名以上

2 運営について

記念講演
全体の時間配分
その他

3 決算報告について

別紙のとおり

4 その他について

アーカイブについて

II 第21回全国学習交流集会について

- 開催日 2023年10月22日（日）
- 開催場所 全労連会館 2階ホール（オンライン併用）
- 開催内容 次回以降検討（事務局会議で検討して提案）
- 事務局 次の団体で構成することを確認（中央社保協・全労連・民医連）
全労連2、他各1名の委員推薦をお願いします）

Ⅲ 今後の日程について

第1回事務局会議 00月00日() :00～

第2回実行委員会 00月00日() :00～

以上

2022年(第20回)全国介護学習交流集会

変えよう！人を大切にする制度へ

～利用者・家族の人権保障、介護労働に正当な評価を～

◆日時 **10月30日(日) 11:00～16:00**

◆会場 **平和と労働センター・全労連会館2階ホール**

11:00 開会

11:05 記念講演 「介護労働の専門性について考える」

篠崎 良勝 さん (聖隷クリストファー大学准教授)

12:40 休憩

13:40 情勢学習

講演Ⅰ 次期改定に向けた介護保険部会の動き

花俣 ふみ代 さん 公益社団法人 認知症の人と家族の会・副代表兼埼玉県支部代表
厚労省社会保障審議会介護保険部会委員

講演Ⅱ 中央社保協 介護保険制度の抜本改革提言(案)

林 泰則 さん (全日本民医連事務局次長)

14:40 休憩

14:50 質疑・応答

15:05 運動交流

15:55 行動提起 林 信悟 さん (中央社保協事務局長)

集会宣言 櫻井 美子 さん (生協労連書記次長)

16:00 閉会

主催：2022年全国介護学習交流集会実行委員会

第6回介護障害者部会5

2022年（第20回）全国介護学習交流集会アンケート結果

回答：85名（オンライン70名／会場15名）

1. 記念講演「介護労働の専門性について考える」について

- よくわかった（56） わかった（22） よくわからなかった（3）
 どちらでもない（0） 回答なし（4）

2. 学習講演「次期改定に向けた介護保険部会の動き」について

- よくわかった（52） わかった（29） よくわからなかった（2）
 どちらでもない（0） 回答なし（2）

3. 学習講演「介護保険制度の抜本改革提言（案）」について

- よくわかった（43） わかった（37） よくわからなかった（2）
 どちらでもない（0） 回答なし（3）

4. 運動交流について

- 参考となりとてもよかった（46） よかった（33） あまり参考にならなかった（0）
 よくなかった（0） どれでもない（0） 回答なし（6）

5. 集会全体に対する意見や要望について

別紙

2022年（第20回）介護全国学習交流集会 参加者アンケート

集会全体に対する意見や要望について

とても内容の濃い講演だったので、質疑応答がもっと活発に行われたら良かったなと思いました。篠崎先生のお話は人間らしさ、尊厳がいかに私たちが生きていく上で根幹、根底にあるのか、心に響く講演でした。

花俣さんのお話はいつ聞いてもどこを問題視しているのか、行政の体たらく差がとても分かりやすく聞いて飽きないですし、勉強になります。介護保険制度を財源問題で頭でっかちなのはもういい加減にしてほしい思いでいっぱいです。

林さんの抜本改革提言案であった、財務省の描く介護保険制度の将来像の図はとてもわかりやすかったです。

運動交流に置いては深刻な状況の報告に「自己責任」で生き抜けと、負担も国民で痛み分け、というのがいまの日本なんだなぁと改めて思いました。若いうちに死んでしまった方が得なのかも。なんて考えてしまったりします。良い時代なんて来るんですかね。ありがとうございました。

参加できてよかったです。

仲間に少しでもこの内容の感動を伝えたいです。

ありがとうございました。

講演会おつかれさまでした。いろいろな講演会、勉強会に参加したことがありますが本日の篠崎先生の講演は感動と共に自分たちの存在意義を確立して下さっている方がいることを知り感謝しかありません。施設の介護スタッフはチームで仕事をします。しかし息の合わないスタッフや対応がいかげんなスタッフ等様々なスタッフがいます。ですが自分達の存在意義、専門性を考えれば小さなことで悩んでいるなど感じました。出来ることに目を向けていればみんなそれぞれ得意分野、得意な利用者さんがいて……。それでいいじゃないかと思いました。一番はボランティア等に参加して自分がどこまで役に立てるのかチャレンジすることがいいかもしれませんが、本日の動画を見せたり、管理者として「自分が避難所にいたら」と過程してみて色々なことにチャレンジできたらなと思いました。普段やってることに間違いはない。そう感じた講習会でした。

愛知医労連の「1人夜勤廃止の署名」早速おこないました。夜勤中毎回思います。「もし今・・・」早急な対応が求められる事だと思います。

貴重な講習会ありがとうございました、難しい事も様々な方々が知らないところで必死にがんばってくださっているんだとわかりました。

篠崎先生の講演「東日本大震災などにおける『福祉』のあり方につて」、考えさせられました。地域の取り組みに生かしたいと思います。明日の介護保険部会の内容を、地域の実情に照らして、遅まきながら地域での署名活動を進めたいと思います。

集会全体に対する意見や要望について

罹患や要介護等、人が人間として生きるうえでの大きな困難に直面した際に、国民の生活を守るべき政府がその人の困難性に比例して高額な自己負担を課し、規制を設けて人間らしく生き抜くことを妨げる、その残酷性を明るみに出す宣伝活動が必要だと痛感します。

篠崎先生のお話を久しぶりに聞いて、とても良かったです。コロナ禍や思い通りにならない職場の中で、やはり自分のやりがいや利用者さんへ寄り添う気持ちが薄れてしまっていたことを思い知らされました。本当は、東京で参加したかったのですが、ZOOMでも、参加できて良かったです。介護保険改悪反対！微力ですが、皆さんと頑張っていきます。

運営の皆様ありがとうございました。 金沢 大川敦子

記念講演は、震災の状況下という中で介護をみつめ、模索し、そして、連携し、繋いでいくというプロセスがよくわかりました。介護の普遍性を強く感じ、未来への展望を見出すことが出来ました。有難うございました。

介護保険制度改正に向けて現場の声を届け、絶対に改悪を阻止しなくてはならない。

篠崎先生が話された介護を提供したくても今の現状（人手不足、低賃金）がますます酷くなるのは一目瞭然。

今こそ力を合わせて皆で訴えていきましょう！

集会のスマートな運営に感謝いたします。web参加が慣れてきたので、今後なかなかリアル参加が億劫になりそうですが(>_<)自宅で全国情報がじっくり聞けるのはありがたいです。

介護保険改悪の動きは今に始まったことでなく、ほんとに日常業務を安定して行えない日々です。3年に一回の見直しと言いながら、毎年なんかしらの改定がされ、その都度利用者に説明、書面の再交付をさせられているケアマネの賃金は上がらない、、、。(一一;)

お疲れ様でした。 ありがとうございます♥

WEB上でのトラブルも有りましたが、篠崎先生の講演はじめとても良かったと思います。実行委員の皆様お疲れ様でした。介護保険の改悪が進められようとしていることが、一般の方に知られていないことはなんとかしないと思います。また、介護の専門学習学習課題もありますが、制度（介護報酬など）により歪められている現状もあると思います。介護の仕事がどのように理解されているのか、現場発信力も必要ですね。

ご講演の皆様、関係者の皆様、大変お疲れさまでした。篠崎先生のご講演は非常に感動しました。災害支援という事実に基づく内容からのお話と介護職の専門性の重要性は胸を打たれる内容でした。ご講演に心から感謝します。多くの仲間との連携・協同により、いま上げるべき声を形にして上げていかねばと強く思いました。

介護保険制度がますます厳しい状況に向かっていく中で、本当に介護支援が必要な人が取り残されることのないよう、声をあげなくてはならないと思います。ありがとうございました。

集会全体に対する意見や要望について
<p>人間の尊厳を守るのかどうかという問題と改めて感じました。 自らの問題でもあるので取り組みを進めたいと思いました。</p>
<p>介護現場のことや認知症高齢者や家族のことを知らない人たちが、介護保険の内容を論議すること事態間違っています。 要支援1と2の方が総合事業に移されたらどうなるか、考えただけでも恐ろしい。何としても改悪をやめさせないといけません。</p>
<p>篠崎先生のご講演がとても印象深く、介護現場の実態や現場で働く方々の想いを強く受け止めました。心が動かされる講演で貴重な学びをさせていただきました。介護の問題は非常に根深く、運動の重要性も花俣さん、林さんのお話で感じました。運営など大変お疲れ様でした。</p>
<p>介護保険の財源として事業主拠出を増やす運動を提起すべきでは。また、介護者の待遇改善として、「同一労働同一賃金（最賃の引き上げ・均等待遇）＋社会的保障制度」を共通目標にすべきかと思います。【藤井伸生】</p>
<p>現場の実情と介護保険制度を見据え発信していきたいと強く思った。</p>
<p>介護という立派な内需産業をもっと大切に、尊重して頂けるように輪を広げていく必要性を再確認させて頂きました。企画された方々ありがとうございました。</p>
<p>今回の介護改悪は、介護職や介護団体だけの問題ではなく、若い世代も含め全国的な危機であることを、すべての運動団体にも力を込めて伝えていく必要があると思います。</p>
<p>篠原氏先生の講演が機械の不具合で聞き取りづらく残念だった また、仲間に呼びかけ学習に参加したい。</p>
<p>本日はありがとうございました。ウエビナーでもPDF等で資料を配布していただき良かったです。 今後検討をお願いします。</p>
<p>集会成功に向けて準備、運営にあられた事務局のみなさん、ありがとうございました。</p>
<p>介護署名を広げたいです。今日はありがとうございました</p>
<p>制度改悪のポイントが再確認でき論点が整理できました。</p>
<p>ありがとうございました。</p>
<p>午前中は他の会議で参加できず、是非YouTubeへ講演をアップしてほしい！</p>
<p>お疲れ様でした。どこの地域や団体に行っても介護の問題はいつも議論になります。今回の改定が権利としての介護保障をすすめるものになるようにしていきたいですね。</p>
<p>介護保険改悪を許さず頑張りましょう</p>

集会全体に対する意見や要望について

良い企画、ありがとうございました。今、巷にはあまりにも多くの問題があふれ、大運動にするためにどうしたらよいか悩みますが、今日のみなさんのお話を拡散して、頑張りましょう。

(チャットが記入できない状態で、意見が伝えられず残念でした)

篠崎先生の講演はとても素晴らしかったのですが、この時期、ちょっとずれていたかな。現場実態や職員や利用者のリアルな思いや希望、などが提供できれば良かったです。

施設利用者の人権の問題が質問されていましたが、先生は教育の側からのお答えでしたが、今の人手不足・低賃金やそれに伴う人間関係の悪化などから、介護現場で人間性や職員の自己肯定感が失われてゆく実態などにも触れ、社会的な考察も欲しかったですね。でも篠崎先生の原点、とても納得いく哲学が伝わって勉強になりました。

申し訳ありません。今日は午前中だけの参加となりました。引き続き運動を進めたいと思います。

とても豊かな学びとなる集会となりました。ありがとうございました。

介護の専門性の所については、現場で働いている方々と話していても「難しい問題なのかな～」と感じることが多い点でした。学習会への参加を呼びかけても、忙しいから等との理由でなかなか足を踏み出さない方も多いです。

介護福祉士さんと数カ月の講習でヘルパー資格を取得された方との意識の差も大きいと思いました。

介護現場では非正規のパート、登録の方が多い。いまだに直行直帰の労働者も多く、まだまだ時間のかかる「テーマ」と感じています。

篠崎先生の話は我々のような介護に関わっているけども現場で実践していない者にとっては非常に大切だと思う。私は、介護の●●実勢んの劣化は労働者の相談から●●、実感していたので共感できた。

被災の現場での実践だけでなく、色々和我々も問題提起を発信していくことが大事だと思った。

花俣さん、林さんの話はいつもながら大変勉強になりました。

運動交流はそれぞれの取組の様子が良く分かりました。

介護全国講習集会は初めて参加させて頂きました。自分の親が介護を受けています。自分には出来ないような大変な仕事だと思えます。誰もがいずれは介護に触れる時が来ると思えますが、制度もそうですが、しっかりとしたものにしないと「明日は我が身」になりかねないです。政府も労働者目線に立って、今後も高齢化社会が進む中、若い人への呼びかけ出来るようにしてほしいですね。制度改悪反対！署名頑張ってとりましょう！！

篠崎先生のお話は介護福祉の実践と実践者の役割をとらえ直すという点で非常に興味深く、各地、各職場、各組合で活用していきたいです。

さまざまな地域、立場からの視点からの思考、意見が分かり、今後の介護のあり方を考える場になったと思う。コロナ前にも介護制度の改悪がひどかった記憶ですが、コロナ後もっとひどい状態になっていると思います。より良い介護を日々学び、実践できたらと思う。

集会全体に対する意見や要望について

今後の福祉をきちんと見据え、福祉従事者としての誇りを持ち、それが「あたりまえ」となる世の中になればいいと思った。後世に残す中で、やりがいに見合った制度を残してほしい。

世話人の皆様ありがとうございます。遠方のため、昼休憩なしで終わり時間をもう少し早くしてもらえると助かります。皆さんの活動が聞けて良かったです。

篠崎先生の思いが充分、伝わってきました。決して介護はAIやICTに勝るもので、台頭できるものではないと思います。涙なくして映像をみることはできません。このように伝えることも重要だと思いますので、講演をうけてくれた篠崎先生に感謝します。

介護の専門性について、取り上げてくださる方はなかなかいません。本日、篠崎先生の講演を聞くことができ、とても良かったです。

全国の報告から実態を知ることができてとても良かったです。

篠崎准教授の講演は2回目だった。今回も非常に介護職として勇気づけられる内容でとても良かった。一方で、篠崎准教授自身が「介護観が時代に合っていない」とおっしゃっていたことにショックを覚えた。篠崎准教授の介護観は普遍的で失ってはならない、そして介護労働者として様々な要求をしていく上での土台となることだと思う。しかし、それが失われている現場が実際にあるということを引き止める必要があると感じた。

介護人材確保も、処遇改善も、より良い介護実現のための制度改善も、介護職員自身が自らの介護に誇りを持ってはじめて説得力のある要求になるはず。改めて、自分自身の介護観を見つめ直すこと、そして、それを仲間と共有し語り合うことがとても大切なんじゃないかと感じた。

非常にバランスの取れた内容で、感性面でも、知識面でも大変勉強になりました。

篠崎さんの話では、目に見えない福祉の効果について学ぶことができました。

花俣さん、林さんの話では、希望ある介護職員の心が折れるような制度の背景が学べました。

介護職員を育てていくことと介護制度を改善させていくこと、両方がとても大事だと感じました。

2022年（第20回）全国介護学習交流集会決算

2022.12.5現在

<収入>				<支出>					
項目	予算	決算	入金	項目	予算	決算	適用	執行率%	
前期繰越	223,195	223,195		会場費・備品代	60,000	61,500	ホール使用料 6万円、会議室1500円	103%	
分担金	50,000	50,000	9/27	自治労連	看板代	10,000	5,000	9/29会議室	50%
	50,000	50,000	9/2	生協労連	講師料	60,000	70,242	篠崎先生謝礼 3万円、交通・宿泊費 3万円、花俣さん10242円	117%
	50,000	50,000	9/5	医労連	要員昼食代	20,000	23,057	17個	115%
	30,000			東京地評	チラシ印刷費と発送費	150,000	164,516	あかつき印刷	110%
	20,000	20,000	9/28	社保協	予備費	249,195	12,936	郵便発送代154通	5%
	50,000	50,000	8/31	民医連					
	5,000	5,000	未収金	建交労					
	1,000	1,000	9/22	連絡会	合計	549,195	337,251		61%
	10,000	10,000	9/2	福保労					
	10,000	10,000	9/9	全国一般	繰り越し		181,945		
50,000	50,000	9/16	全労連						
雑収入		1	8/13	利子					
合計	549,195	519,196	94.5%	合計	549,195	519,196			

残金 + 積立金

20回残金

181,945 ※別に単年度決算時からの積立金が91,792円あります。

273,737

< 残金+積立金の内訳 >

普通預金	264,031	2021/1/28現在 中央労金本店営業部1391143173
現金	4,706	
未収金	5,000	建交労分担金
計	273,737	